
春の里山ハイキング～♪♪

秩父 烏頭山～芋掘りドッケン～倉明山

白井達也

飛び石GWの最終日。4月に登った秩父槍ヶ岳先からの姿が印象的だった芋掘りドッケンに、休日出勤続きの亘さんと登りました。

●メンバー L斎藤(亘)・白井

●2016年5月5日(木) 快晴

●コースタイム

入波トンネル脇駐車場6:00→烏頭山8:35→芋掘りドッケン9:48→倉明山11:20→駐車場13:15 歩程7時間15分(休憩含む)

前日の16:00に石神井公園駅前集合。車で滝沢ダムを目指します。尾根の取付を偵察の後、滝沢ダム上の滝ノ沢望郷広場にテント泊。ここは街道から少し上にあり、静かで清潔なトイレもあり、水も取れて快適です。

芋掘りドッケンへの道は、白井指峠から登るルートが一般的ですが、今回は車で入山のため、入波沢河口に架かる新遊仙橋の端から登って、反対側の端に戻ってくる周回コースをとることにしました。

さっそく入波トンネル入口の左側にある駐車場(小さな神社あり)に車を止め、何段か古い石垣の残る(廃道跡?)植林の尾根を直登します。こんな傾斜でよく作業ができたなと思うような急登を小1時間で植生が変わり、明るい広葉樹林の尾根を1時間半ほど頑張ると、本日最初のピーク烏頭山に到着です。(残念ながら展望もなければ、山名板もありません)

烏頭山はさっさと通過して、次のピークにて一休み。ここは木間越しに南から西側にかけ

での展望があり、雲取山から和名倉山、秩父槍ヶ岳から白泰山・三国峠方面の山脈を望むことが出来ます。盛りは過ぎてしまったものの、ピンク色のツツジの花もちらほら残っていて、新緑の林に彩りを添えていました。

ここから芋掘りドッケンへ続く尾根は、右に90度曲がって急降下です。途中の大岩は右から巻き下り、神社の境内のような並木道を登り返すと、3等三角点のある山頂に到着。山名板もなく、ひっそりとした林の中の山頂です。展望はこれまた木間越しに見える和名倉山。秩父の山らしいと言えば言えなくも(>_<)



ここまでは赤布等もほとんど無く、農工大と記載のある標識杭が点々と続いているだけでしたが、ここからは主稜線。急に目印が増えます。道は大きく右にカーブし、1331m高点への登りは岩稜となります。振り返れば平らな山頂の芋掘りドッケン。(秩父槍から見た感じと違います)右には秩父の盟主両神山を望み、左にはたどって来た烏頭山の三つのピークの後に、長大な奥秩父の主稜線が伸びています。本日一番の絶景ポイントでした!



1331m高点をすぎると尾根はゆるやかに登下降を繰り返し、いつの間にか倉明山の山頂に到着しました。マップには滝ノ沢と記載がありますが、これは三角点名で、地名としては倉明山(くらげやま)のようです。ちなみに芋掘りドッケンの三角点名は浜平です。ここで我々はそのまま南に下りましたが、主稜線をさらにたどる場合は、一旦少し戻ってから北東に伸びる稜線に乗ることが必要で、要注意です。

倉明山からは赤テープを追って下って行きますが、しばらくすると尾根が広がってきます。目の前にテープは続いていますが、ここはGPSと地図で方向を見定めて右に進路を変更。うまいこと南に下る尾根に乗ることが出来ました。(紙地図+GPSは尾根すじでは強力な助っ人ですね～！)ヽ(^。^)/

ここから尾根は急降下。ひたすら下ること30分ほどでまたまた尾根が広がり要チェック。大黒山付近と思われましたが、それらしいピークはありません。とりあえず右の方に下って行くとはっきりとした尾根の形になってきて一安心。

さらに下ると山神宮のお堂が現れ、里近しを思わせます。左に下る道が結構出てきますが、とりあえず右へ右へと進み、詰めを誤ってはとGPSを見ると、ありやりや。トンネルの上を通り越して湖のほうに進んでいます・・！あわてて北の方に戻るように進むと、木間から湖畔に延びる旧道が。そして下にはトンネルから伸びる橋と、上を横切る白い手すりや階段が見えてきました。最後まで気を抜けませんね～。

トンネルの真上は展望がよく、烏頭山(正確には手前の1321m高点か)の方がドッケン(尾根上の尖った峰)と呼ぶにふさわしいとんがり頭を見せ、その後に芋掘りの頂上が・・。



これはこれでなかなかの絶景でした。(トンネルの上で喜んでいる男二人を、真下を走り抜ける車の人はどう見てたんでしょうかね・・?)

ともかく好天に恵まれたGW最終日。静かな里山ハイクを楽しむことができました。(。-)y-°°

